

## 令和6年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	81	学校名	静岡県立浜名高等学校	記載者	山崎 裕子
------	----	-----	------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
全1	ア 生徒の主体的な学習態度の育成による学力の向上 生徒の主体的な進路決定意識の育成による進路実現	①「各教科における単元の目標や評価基準等が明確」 生徒 85% ②「授業は分かりやすく、教え方に工夫がある」 生徒 85% ③「授業で端末を十分に活用している」 ④「到達度テストにおける各教科の正解率」 65% ⑤「大学入学共通テストの各教科平均得点率」 50% ⑥「自らの目標に向けて、努力と挑戦を継続」 生徒 85% ⑦「第3学年6月までに未来創造企画書が完成」 生徒 100% ⑧「進路に関する情報提供・指導助言は適切である」 生徒 80%、保護者 70%	B	B	教員間での共通理解を図ることで生徒への学習面や進路面の育成の成果は感じる。 今後は工夫したことの共有や目標達成のためにどう改善していくべきなのかを模索していく必要がある。 理系科目の弱さがあるのではないかと。
全2	イ 探究的な学びの組織的な検討、及び具体的な実践プログラムの構築	①「探究活動実践プログラムの策定」 ②「課題発見力及び課題解決能力を高めることができた」 生徒 85%	A	A	これから社会で生きていくうえで必要な課題発見力や解決力が高まったことは評価できる。 良かった点を明確にすることと、入学当初からの伸びを観測できると良い。
全3	ウ 質の高い教育活動の展開による生徒の文化に親しむ豊かな心の育成	①「学校行事、生徒会・委員会活動及び部活動等に主体的に取り組んでいる」 生徒・保護者 90% ②「1か月に1冊以上本を読む」 生徒 70% ③「学校図書館の1人当たりの年間貸出冊数」 4.0冊 ④「全国・東海大会出場」 6部活動 ⑤「校外を対象に活動・発表の場を設けている部活動」 100%	B	B	部活動を通じた主体的な取組は評価できる。 読む本の冊数や貸出数など数値があれば評価はしやすいが、目標設定の見直しが必要かもしれない。 学校の図書館が情報交換の場となることで、本に触れる機会を創出できるなど模索していけると良い。

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
全 4	エ 社会情勢に適合した生徒指導と安全・安心な教育環境整備を通じた生徒の自己肯定感、自律心及び社会性の育成	①「挨拶を心掛けたり、身だしなみに心を配ったりするなど社会のマナーを意識して学校生活を送っている」 生徒、保護者 95% ②「受診が必要な生徒の治療率」 85% ③「校内に自分の悩みや不安を話す人や機会・場所がある」 生徒 80% ④「学校内外の整備・美化は行き届いている」 生徒、保護者 85% ⑤「地震や暴風警報発令時等の登校基準や行動を把握している」 生徒、保護者 80%	A	B	挨拶や身だしなみなどのマナーは有事の際の地域連携の基盤であり、学校内外の整備も防災対策には重要であるためにさらなる成果を追及して欲しい。 学校生活を楽しむためには校内に自分の居場所が必要であり、養護教諭や相談室担当の連携により、迅速にスクールカウンセラーに繋がれたことは評価できる。 ・未然に防げる方法を模索したい。(SOSサイン等)
全 5	オ 広報の充実及び地域等での取り組みを通じた教育活動の周知	①「生徒目線を取り入れた「学校紹介動画」の作成」 ②「ホームページの毎日更新」 ③「体験入学や広報誌等が高校選びの参考になった」 来校者 95% ④「校外を対象に活動・発表の場を設けている部活動」(再掲) 100%	A	A	生徒目線の学校紹介動画はグッドアイデアである。 生徒たちが自主的に「いいね」がしたくなるような内容をSNSで発信するのはどうか。 広報のために生徒の力を適切に借りることよい。 高校選びに一番参考にしたのは、何なのかを明確にしていく必要はある。
全 6	カ 教職員の組織力向上と教育活動の合理化・効率化による活力ある運営体制の確立	①「令和7年度から実施する教育課程改訂案の策定」 ②「各分掌(事務部含む)及び各学年による業務改善・縮減」 1件以上 ③「校務運営に具体的に参画した」 事務職員 100%	A	A	危機管理をしっかりとって合理化・効率化に努めていって欲しい。 業務改善がどう効果的だったのかを共有して取り組んで欲しい。 ただし、教職員の皆様が働きやすい職場と感じることが組織力向上のベースなので、削減や効率化ありきにならないで欲しい。

様式第5号

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
定 1	ア 授業改善 や学習支援の 取り組みを通 じた生徒の基 礎学力の定着	①「授業の内容・説明がわかりやすい」 生徒 90% ②「授業を通して新しい知識が身に付い た」 生徒 90% ③「授業に積極的に取り組んでいる」 生徒 90%	A	A	生徒の授業に取り組む姿勢がとても良いと思われる。 生徒の状況に合わせたICTの効果的な活用を模索した成果を感じるのでさらなる工夫と成果を期待したい。
定 2	イ 効果的・ 系統的な進路 指導体制の構 築による生徒 の社会参画に つながる進路 意識の高揚	①「卒業時に進路が決定している」 生徒 95% ②「卒業年次の夏までに体験入学や職場 見学に参加した」 生徒 90% ③「検定合格者及び資格取得者数」 延べ 50 人	B	B	各年次における育てたい力（キャリア形成の観点から）を明示すると良い。 一人ひとりに寄り添った進路選択のサポートをして欲しい。 各種検定や資格取得は進路決定につながるツールなので増やして欲しい。
定 3	ウ 丁寧な指 導と支援体制 の充実による 生徒の基本的 な生活習慣の 確立	①「校内に自分の悩みや不安を話す人や 機会・場所がある」 生徒 90% ②「生徒の交通事故及び問題行動」 年間 10 件以内 ③「生徒の出席率 90%以上、遅刻率 10% 以下、早退率 1%以下」	A	A	生徒状況の共有、SCやSSWとの連携による対応はできているので継続して欲しい。 問題行動防止のために専門家の講話があっても良い。 「校内に自分の悩みや不安を話す人や機会・場所がある」の項目を大切にしたい。
定 4	エ 生徒の新 たな体験や学 校生活の充実 につながる質 の高い学校行 事や特別活動 等の展開	①「学校行事が充実している」 生徒、保護者 90% ②「外部講師等による研修会等の開催」 10 回以上 ③「自分には良いところがある」 生徒 85% ④「部活動の大会出場や発表会等の対外 行事に参加する生徒」 延べ 30 人	A	A	レジリエンスの育成に努めて欲しい 目標をクリアするための行事運営や仕掛けを工夫した結果、自己肯定感が高まったと見えるようになってきたことは評価できる。

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
定 5	オ 広報の充 実等による本 校及び定時制 の教育活動の 周知	①「学校案内の刷新」 ②「ホームページの週 2 回以上の更新」 ③「学校説明会等で浜名高校のことが分 かった」 来校者 95% ④「学校の教育活動の様子がわかる」 保護者 90%	A	A	学校説明会での学校 説明の一部をぜひ生徒 に担当させて欲しい。 HP だけでなく SNS の 活用を検討しても良い のではないかと。 目的が広報や周知な らばHPを見てもらう努 力が必要だと考える。 生徒たちの力を借り て、生徒たちが自主的 に「いいね」がしたく なるような内容を SNS で発信するのはどう か。
定 6	カ 生徒・教 職員が安全・ 安心に教育活 動を展開する ための教育環 境の整備	①「学校内外の整備・美化は行き届いて いる」 生徒、保護者 90% ②「いじめに遭ったり見たりしたことが ある」 生徒 0% ③「浜名高校に入学してよかった、させ てよかった」 生徒、保護者 90% ④「地震や暴風警報発令時等の登校基準 や行動を把握している」 生徒 80% ⑤「各分掌（事務部含む）及び各学年に よる業務改善・縮減 1 件以上	A	A	危機管理を十分意識 して、効率化・合理化 を図るように。 入学して良かった、 入学させて良かったが ともに 95%以上であつ たことは評価できる。 いかに生徒と対話で きるかが大切で、それ はマンパワーではな く、組織として対応で きるように取り組んで 欲しい。